

“災害ボランティアのつどい” とは？

災害の規模が大きければ大きいほど、消防、警察などの公的な救援活動（公助）が十分に機能するまでには時間がかかります。

そんな時に必要なのが「自分の身は自分で守る力（自助）」と「地域で助け合う力（共助）」です。これを高めるためには、平時からの防災活動や啓発活動がとても大切です。



この「災害ボランティアのつどい」は、**平時からの防災活動や啓発活動に関心のある人が集まり、活動を形にするためにどうしたらいいか話し合い、計画し、実行するための場**として開催しています。

こんな思いがある方は、ぜひご参加ください！

- ▶ 地域の防災力や防災意識向上のために何か活動したい
- ▶ 災害時に備えて、自分や地域でできることを考え実行したい
- ▶ 災害時に助け合える関係づくりに興味がある
- ▶ 一緒に活動してくれる仲間を探している

～災害ボランティアのつどいで大切な3つのポイント～

災害時に活かせる 情報を共有する

各々が知っている情報を共有し、知らないことは一緒に学ぶ。

災害に備えて 自分ができるところを考える

自分ができるところ、やりたいことを他の参加者と一緒に考える。

一緒に活動してくれる 仲間をつくる

つどい参加者以外でも一緒にやってくれそうな人に声をかける。